

神の国の教え⑤時代を判断する

ルカの福音書12章54-59節

2012,11,25 HKJCF

I概観

序) ①神の国中心の人生②神の国と終末

- 1、天候に敏感な群衆 54-55
- 2、時代を判断する(1),(2) 56-57
- 3、神の国に入る準備 58
- 4、適用

II天候に敏感な群衆

- 1、農民：収穫のため
- 2、漁民：出漁のため
- 3、商人：商品市場のため
- 4、現代：天候予想・人口動態・気候動向
⇒経済予想の困難さと地上の生活

III時代を判断する(1)

- 1、偽善者の意味：形式>本質 役割>自己
- 2、歴史観の問題：①永劫回帰 ②直線的
1)過去の美化2)将来の希望 ③神の主権
- 3、神の国中心の歴史観
①創造②墮落③回復（新創造：創造の完成）
⇔人類救済と神の国完成のご計画
⇒時代・世界・神の国の聖書的理解へ

III時代を判断する(2)

- 4、時代を見分ける目
①歴史の支配者としての神 創世記
②歴史の証人としてのユダヤ人 旧約預言
③終末の予兆としての教会と宣教 黙示録
④終末の予兆としての世界 マタイ24
- IV神の国に入る準備
- ①神の国中心の時代の見方と終末意識
 - ②十字架と赦し 1) 神 2) 隣人 3) 自分自身

V適用

- ①歴史の主である神様の主権を認める
- ②終末を意識してこの世を生きる
- ③十字架の赦しの愛を人生の中心に置く
⇒神の国の価値観、宣教、証しの生活
(家族・職業・隣人・共同体・世界)